

特集

ガーベラはいつでも花盛り

こころに元気をお届けします

ガーベラは、白やピンク、赤や黄色、オレンジなど多彩な花色が魅力のキク科の花です。花言葉には「希望」や「元気」、「常に前進」など前向きで心を明るくしてくれる言葉が多くあります。フラワーアレンジメントや結婚式のブーケの素材としても人気があり、目にする機会も多いのではないのでしょうか。

石巻市桃生地区は、年間を通して温暖で日照時間が長く、夏は涼しく冬は降雪量が少ない気候を活かして、関東以北では最大のガーベラ産地となっています。JAいしのまき桃生ガーベラ部会では、6戸の生産者が年間を通してガーベラの出荷に取り組んでいます。

今回は、新型コロナウイルスによる販売不振などの逆風にも負けず、良質な花作りに挑戦し続けるガーベラ生産の取組をご紹介します。

石巻市桃生地区は、東北一のガーベラ産地

JAいしのまき桃生ガーベラ部会について

- ・平成6年からガーベラ栽培を始め、現在は6戸の農家で構成されています。
- ・土、炭、ヤシ殻等を独自配合した培地を入れたポットとロックウールマットを使う折衷栽培を実施しています。
- ・栽培面積は1.1ha、11棟の鉄骨ハウスで約6万株を栽培し、年間の出荷本数は、約400万本にもものぼります。
- ・主な出荷先は、首都圏を中心としながらも仙台や石巻といった宮城県内にも数多く出荷しています。
- ・平成22年には、第19回花の国づくり共励会花き技術・経営コンクールで農林水産省生産局長賞を受賞しました。
- ・平成24年には、日本農業賞優秀賞を受賞、その後も、みやぎ園芸振興大賞を受賞するなど、その品質は県内外で高く評価されています。



生産者の想いがきらり、こだわりの品種選び

ガーベラは1年から3年毎に株を更新しており、毎年3月から6月は植替えの時期です。現在、桃生地区全体では70品種以上のガーベラを栽培しています。

定番品種に加えて、他県のガーベラ産地を視察したり、種苗会社やカタログを参考に吟味して、生産者それぞれがこだわり抜いた品種も栽培しています。



「ケンタッキー」※1 「セリースケーク」※2

※1 昔から愛されてきた定番品種 ※2 無花粉の品種で、花粉が落ちて汚れることがないため、生花店に人気です。

ピンチをチャンスに!新型コロナウイルスに立ち向かう ガーベラ栽培～生産者インタビュー～



石巻市桃生地区でガーベラ生産や、花育活動に取り組む西條由美恵さん

ガーベラの最盛期は3月から5月。この時期は卒業式や送別会、お彼岸、入学式など一年の中で最も花の需要がある時期ですが、今年は新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止や自粛となり、花の売り上げが大きく落ち込み、経験したことのない事態となりました。そんな中、県やJA、石巻市、東松島市など関係機関の皆様からの暖かいご支援でたくさんガーベラを購入していただき、心から感謝しております。ありがとうございました。

緊急事態宣言が出されてからは、自宅で過ごす時間が増え、花を飾って楽しむ人が増えたと聞きます。これをきっかけに花のある暮らしの良さを多くの人に知っていただけたら幸いです。

農業簿記勉強会を開催しました



講師1人のほかに、参加者2～3人につき1人サポート職員を配置し指導しました。

管内の農業者を対象に、農業簿記勉強会を令和2年7月28日から8月20日まで全6回に渡るコースで開催しました。

勉強会では、簿記の基礎や発生した取引の伝票への記入方法、伝票を精算表へ整理する流れなどについて学びました。慣れない複式簿記に最初は戸惑っていた参加者も、実際にたくさんの伝票を書きながら、様々な取引パターンに応じた仕訳方法を学ぶうちに理解を深めていきました。

今後も普及センターでは、現場のニーズに合わせた勉強会・講習会を開催し、農業者の経営発展に向けて支援をまいります。

【問】先進技術第一班 ☎0225(95)7612

土地利用型園芸の推進 ～加工用ばれいしょ生産拡大～

東松島市の「農事組合法人おおしお北部」では、平成29年からお菓子メーカーのカルビー株式会社との契約販売でばれいしょを作付けしています。栽培は今年で4年目となり、面積も3haから21haまで拡大しました。現在、県内の生産者や関係機関により「宮城県ポテト生産者協議会」が組織されています。この協議会が主体となり、施設・機械導入や栽培講習会、研修会を広域で開催し面積拡大を目指しています。

ばれいしょは、ほ場整備された水田での作物として有望なことから、カルビー株式会社では、宮城県での生産拡大に大きな期待を寄せており、普及センターでも一層応援していきたいと思えます。

【問】先進技術第二班 ☎0225(95)1435



ポテトハーベスタ: グリメ社SE75-20による堀取り作業と機上選別の様子

農業の夢・志・ビジョンをかたちに! ～農業法人セミナー開催～



活発な話し合いのポイントは、量より質・相手に共感すること・突拍子のない意見も遠慮しないこと!

農業法人の役員や社員を対象に、「農業法人のための未来志向組織の作り方」と題したセミナーを開催しました。ホライズンコンサルティンググループ株式会社の庄司和弘氏を講師に、法人の将来ビジョンの描き方、具体化し実現していく方法について、様々な例を用いてわかりやすく説明をいただきました。

その後のワークショップでは、各々の将来ビジョンについて、立場を越えて意見交換を行いました。参加者からは、「事例を聴いて参考になった」、「ビジョンを社内で共有することの大切さがわかった」、「悩みなど似通った点がありお互い相談ができた」、との声が寄せられました。

【問】先進技術第一班 ☎0225(95)7612

令和2年度 新任「指導農業士」の紹介

県では、優れた農業経営を実践して、地域農業の振興及び農村青少年等の育成に貢献している農業者を「農業士」として認定しています。

石巻地域から令和2年度は指導農業士3名、青年農業士2名が認定されました。今号ではこの度認定された3名の指導農業士の方をご紹介します。



★ 熱海 光太郎 さん 地域：東松島市鳴瀬 品目：野菜

- ・平成24年に「株式会社 よつばファーム」を設立されました。
- ・東松島地域でも「地消地産」を進めたい(地元の消費は地元の生産物でまかなう)という思いを持ち、被災住宅跡地を活用して、さつまいもや、ちぢみゆきな等の露地野菜やさつまいも苗等の販売を行っています。
- ・農福連携を積極的に推進しており、農業を通じた障害者の就労環境整備に取り組んでいます。
- ・東松島市の農政審議会委員や農業経営指導マネージャー等を務め、地域の農業振興及び担い手の育成に尽力されています。



★ 遠藤 淳一 さん 地域：東松島市矢本 品目：野菜

- ・露地栽培で、レタス、ブロッコリー、とうもろこし、はくさい、ほうれんそうを生産しています。
- ・地域の伝統野菜である「仙台白菜」の栽培にも取り組んでいます。その品質は高く評価されており、令和元年度には、国と国民の安寧や五穀豊穡を祈る宮中行事の大嘗祭の献上物に選ばれました。
- ・地域の野菜生産組合に所属し、品質の高い野菜の生産に努めており、JAいしのまきやもと蔬菜組合長に就任し、組合の発展のために尽力されています。



★ 笹原 善智 さん 地域：石巻市河南 品目：野菜

- ・きゅうり、トマトの施設園芸を営んでいます。経営の中心作物であるきゅうりは、促成栽培と抑制栽培を組み合わせ、年間を通して市場に出荷できるように管理すると共に、海洋深層水や海由来の肥料等を利用して食味を向上させ、ブランド化する取り組みを行っています。
- ・「農事組合法人 黄金ファーム」の理事として、設立時から経営に携わり、会計・経理を担当すると共に、地域の転作(飼料米、大豆)の作業を請け負い、無人ヘリによる防除作業などにも取り組まれています。

NEW FARMER ~新規就農者紹介~ 佐藤 隆助 さん (石巻市桃生)

仙台でシステムエンジニア(SE)をしていましたが、農業に憧れて会社を辞め、県農業大学校ニューファーマーズ・カレッジで1年間学びました。今年4月に故郷に戻り、SEとしての仕事の傍ら主に露地で野菜栽培を始めています。

就農1年目から天候不順を経験し、主力の夏野菜だったとうもろこしも打撃を受けました。まだまだ勉強が必要です。

私の生産した野菜は、石巻河北 IC 近くの道の駅「上品の郷」で販売しています。10月は枝豆の収穫の終盤で、その後はブロッコリー・カリフラワーが並ぶ予定です。是非一度お手に取ってみてください。



この冊子は550部作成し、1部あたりの単価は約60円です。



本誌は、環境にやさしい大豆インキと再生紙を使用しています。

【発行】石巻農業改良普及センター
(宮城県東部地方振興事務所農業振興部)

〒986-0850
宮城県石巻市あゆみ野5丁目7番地
電話 0225(95)7612
FAX 0225(95)2999